

平成 29 事業年度
公立大学法人岩手県立大学の業務の実績に関する評価結果

平成 30 年 8 月

岩手県地方独立行政法人評価委員会

目 次

	頁
1 はじめに	1
2 全体評価	
(1) 総評	1
(2) 各分野における平成 29 事業年度の取組	1
3 項目別評価	
(1) 項目別評価の状況及び「A A 評価（特筆すべき進行状況にある）」の取組	2
(2) 改善が望まれる取組	2
別表 項目別評価の状況及び「A A 評価（特筆すべき進行状況にある）」の取組	3

1 はじめに

本評価委員会は、平成 18 年 5 月に策定した「公立大学法人岩手県立大学に係る各事業年度業務実績評価実施要領」に基づき、

- ① 平成 29 事業年度における中期計画の実施状況の調査
- ② 当該事業年度における中期計画の実施状況の分析
- ③ 業務の実績全体についての総合的な評定

を内容とする評価を行った。(評価の具体的な方法は下記のとおり。)

記

(1) 項目別評価

法人による自己評価の結果を基に、法人からのヒアリング等を通じて、年度計画に照らして進捗状況を確認し、自己評価の妥当性の検証と評価を行った。

なお、教育研究等の質の向上に関する項目については、教育研究の特性への配慮から、専門的な観点からの評価は行わず、取組の外形的・客観的な進捗状況の観点からの評価を行った。

また、評価委員会が認める「AA評価(特筆すべき進行状況にある)」については、

- ① 年度計画に掲げる取組を達成しつつ、更に中期計画に沿った取組が付加・実現されているもの、
- ② 取組の結果、何らかの成果が明らかになっているものを対象とした。

(AA評価の例)

- ・ 年度計画において、「制度の創設」を当該年度の取組としていたものについて、実績において「制度を創設」したことに加え、「制度を運用」した場合
- ・ 積極的な県内企業訪問の結果、県内求人数が増加した場合 など

(2) 全体評価

「項目別評価」の結果及び中期計画の達成状況を踏まえ、中期計画の全体的な進捗状況及び業務の実績全体について総合的な評価を行った。

2 全体評価

(1) 総評

中期計画に基づく平成 29 事業年度計画は「おおむね計画どおり進められた」と認められる。

ア 平成 29 事業年度計画の取組

平成 29 事業年度においては、年度計画に掲げる取組 45 項目全てが「B評価(おおむね計画どおり進んでいる)」以上と評価され、また、そのうち「A評価(計画どおり進んでいる)」以上の項目は 73.3%(33 項目)であることから、年度計画全般においておおむね計画通り取組が進められたものと評価できる。

	平成 29 年度
A 評価以上	33 項目 (73.3%)
B 評価	12 項目 (26.7%)
C 評価	0 項目 (0.0%)
D 評価	0 項目 (0.0%)

イ 第二期中期計画からの継続課題

第二期中期計画からの継続課題となっている大学院の定員については、前年度と比較して受験者及び入学者ともに増加するなど、取組の成果が見られることは評価できるが、依然として充足していない。今後も継続して大学院教育のニーズの検証及び定員や組織のあり方を検討する必要がある。

(2) 各分野における平成 29 事業年度の取組

- 大学の教育・研究、地域貢献等に関しては、
 - ① 全学及び各学部のアドミッション・ポリシー(AP)を改定し、各学部等の AP では「求める学生像」と学力 3 要素の評価・選抜方法との相関関係を図表に明示・公表したこと
 - ② 志願者確保及び大学院及び編入学の定員充足に向けた積極的な活動を展開し、志願者数や大学院入学者数が増加したこと

- ③ 在学生による「CA（キャンパスアテンダント）カフェ」や各学部の特性に応じた取組の実施など、高大連携の多様な取組を推進したこと
 - ④ 大学独自の学業奨励金拡充による経済支援の推進とともに、学生の主体的学修を支援するため多面的な取組を実施したこと
 - ⑤ 「学生サポートサロン」の利用拡大や「修学状況に係る保証人通知制度」の創設など、学生支援の充実に向けた取組を実施したこと
 - ⑥ 企業見学会や学生と企業関係者との交流会等、県内定着を図るための積極的な取組を実施し、県内就職者数が増加したこと
 - ⑦ 研究者データベースの充実に向けた制度の見直しにより、機関リポジトリへの論文登録数が増加し、研究成果の発信につながったこと
 - ⑧ 各学部がその特性に応じて公開講座や社会人リカレント教育等を充実させたことにより、受講者数が増加したこと
- など、学生への教育、生活、就職支援等の多面的な支援や特色ある活動に取り組み、その成果が認められることは、高く評価できる。
- 業務運営の改善及び効率化に関しては、「岩手県立大学・男女共同参画推進のための学長宣言」により、男女共同参画及び教職員が働きやすい環境の整備に積極的に取り組んだことは、高く評価できる。
 - 財務内容の改善に関しては、経費の必要性や費用対効果を確認し、大学運営費を抑制したことは、評価できる。
 - 自己点検・評価・改善及び情報の提供に関しては、ホームページのリニューアルによりポータルサイトの機能の充実を図り、また、教育・研究・地域貢献活動等の積極的な発信のためのプレスリリースなどの広報活動を行ったことは、評価できる。
 - 施設設備の整備・活用等に関しては、計画的な施設修繕や施設利用の利便性向上を図る取組を行ったことは、評価できる。

3 項目別評価

- I 大学の教育・研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
⇒「おおむね計画どおり進んでいる」。全ての項目が「B評価」以上であり、「A評価」以上の項目が69.0%を占めていることは、評価できる。
- II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
⇒「おおむね計画どおり進んでいる」。全ての項目が「B評価」以上であり、「A評価」以上の項目が87.5%を占めていることは、評価できる。
- III 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
⇒「おおむね計画どおり進んでいる」。全ての項目が「B評価」以上であり、「A評価」以上の項目が50.0%であった。
- IV 自己点検・評価・改善及び情報の提供に関する目標を達成するための措置
⇒「計画どおり進んでいる」。全ての項目が「A評価」であったことは、高く評価できる。
- V その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置
⇒「おおむね計画どおり進んでいる」。全ての項目が「B評価」以上であり、「A評価」以上の項目が75.0%を占めていることは、評価できる。

(1) 項目別評価の状況及び「A A評価(特筆すべき進行状況にある)」の取組別表のとおり。

(2) 改善が望まれる取組

「C評価（やや遅れている）」及び「D評価（重大な改善事項がある）」の項目がなかったことは、第三期中期計画期間の初年度として各事業の着実な推進が認められ高く評価できる。

今後、B評価の項目の目標を達成し全体的な底上げを図るよう、取組の充実が望まれる。

【別表】項目別評価の状況及び「A A評価（特筆すべき進行状況にある）」の取組

評価の判断基準

法人の実績報告において「特記事項」として報告されているもののうち、下記と認められるもの

- ①年度計画に掲げる取組を達成しつつ、更に中期計画に沿った取組が付加・実現されているもの
- ②取組の結果、何らかの成果が明らかになっているもの

区分	評価				A A評価項目	摘要			
	区分	法人	委員会	委員会の割合 (%)					
I 大学の教育・研究等に関する目標を達成するための措置 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">「おおむね計画どおり進んでいる」と判断される</div> ※AA~B 評価割合 100.0%	AA		8	27.6	◎全学的な取組 ① 全学アドミッション・ポリシー及び各学部アドミッション・ポリシーの改定【No.11】 1 全学アドミッション・ポリシー及び各学部等のアドミッション・ポリシーを改定した。 2 各学部等のアドミッション・ポリシーに、学力の3要素の評価の度合いと選抜方法との相関関係を図表にして明示した。 3 ソフトウェア情報学研究科において、学部生及び国際交流締結大学の成績優秀者を対象とした「特別推薦入試」を実施した。 ⇒ <u>一貫性・整合性のとれたディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーの策定に向けた全学共通の3ポリシーの策定</u> ② 志願者確保、大学院及び編入学の定員充足に向けた取組の推進【No.12】 （表1参照） 1-1 保護者対象入試相談会（県内2か所）や高校訪問（年2回延べ281校）、オープンキャンパス（年2回）の実施、入試案内の作成、本学Webページに本学の特徴や入試案内を掲載しPRするとともに、在学生によるキャンパス・アテンダントと受験生が気軽に話ができる「CAカフェ」を通じて受験生の相談に応じた。また、進学サイトを活用した本学志望者へのメッセージ配信を行った。 なお、過去3年の合格者が多い高校28校を重点とし、高校の校長を務めた高大連携特命課長が高校を訪問して入試概要を説明した。 1-2 進学サイトの運営会社から模試の統計データの提供を受け、志望動向の把握を行った。 1-3 学部等の主な取組は次のとおりである。 【看護学部】 岩手県看護協会等が主催するイベント（5回）を通じて大学における看護学について説明した。 【ソフトウェア情報学部】 「推薦入試受験の手引き 平成30年度版」を全国105の高校に配布した。 【盛岡短期大学部】 短期大学部独自で受験実績のある県外の高校8校を訪問し、学部の説明を行った。 2-1 これまで四大と大学院を別冊子にしていた入学案内を平成31年度版から合冊し、大学院の魅力が高校生や保護者にも広く目に触れるようにした。 また、本学の特徴を分野ごとに紹介し、学部に関するQ&Aを掲載することで、本学の魅力が伝わるようにするとともに、取得可能な資格を分かりやすく説明し、進学メリットが伝わるよう改善を図った。 2-2 7月のオープンキャンパスで各学部が実施する入試相談に編入学、大学院の進学相談にも応じる旨を、リーフレットと当日配布するパンフレットに明記し、相談に対応した。				
	A	20	12	41.4					
	B	9	9	31.0					
	C	0	0	0.0					
	D	0	0	0.0					
	計	29	29	100.0					

○入試の状況（表1）

区分		H28	H29	
県立大学	四大学部	入学定員	440	440
		入学者数	463	464
		志願者数	2,031	2,128
		↓ 志願倍率	4.6	4.8
		↓ 受験者数	1,522	1,587
	大学院	↓ 実質倍率	3.1	3.2
		合格者数	493	490
		入学定員	108	108
		入学者数	45	55
		志願者数	47	59
盛岡短期大学部	↓ 志願倍率	0.4	0.5	
	↓ 受験者数	47	58	
	↓ 実質倍率	1.0	1.0	
	合格者数	45	57	
	入学定員	100	100	
	入学者数	102	116	
	志願者数	285	277	
盛岡短期大学部	↓ 志願倍率	2.9	2.8	
	↓ 受験者数	236	218	
	↓ 実質倍率	1.6	1.5	
合格者数	151	150		

区分	評価			A A評価項目	摘要																												
	区分	法人	委員会 割合 %																														
				<p>2-3 本学在學生に対し、大学院及び編入学進学に向けてのアンケート調査を実施するとともに、アンケート結果及び定員充足の施策に向けた今後の取組の方向性をまとめ、入学者選抜検討会議において報告した。</p> <p>2-4 学部・研究科等の主な取組は次のとおりである。 【看護学研究科】 説明会を盛岡地区で3回、一関地区で1回開催した。 【社会福祉学研究科、ソフトウェア情報学研究科】 ポスター、リーフレットを作成し、広く配布した。 ⇒ 志願者数、大学院の入学者数の増加</p> <p>③ 高大連携の推進【No.13】(表2参照)</p> <p>1-1 高大接続委員会(7月、11月、2月)や、高等学校長協会との懇談会(6月)を開催した。 高校訪問については、春と秋に県内外延べ281校を職員が訪問し、入試について説明を行った。 また、高校教員大学見学会を年2回(6月、9月)開催し、高校教員に本学についての情報を提供した。 これらの取組を通じて高校側から提案された意見については、高大接続委員会や本学教員等で構成する高大連携推進委員会で情報共有し、センター試験教科・科目の変更など、本学の入試制度の見直しに反映させた。</p> <p>1-2 新たに教職員対象の高大連携・入試勉強会を年3回(6月、8月、11月)開催するとともに、本学が高校に出向いて講義をする出張講義の高校からの受付を4月から8月まで毎月できるようにし、高大接続の改善を図った。</p> <p>2-1 出張講義を計58回実施するとともに、在學生によるキャンパス・アテンダントが気軽に雰囲気の中で高校生からの相談に応じる「CAカフェ」を11回実施した。 また、高校からの依頼により大学見学を51回実施するとともに、ウィンターセッション(12月)、いわて高等教育コンソーシアム事業駅前講義(8月)、オープンラボ(看護、ソフト、総政、盛短)を開催した。 これらの参加者の動向を把握した結果、出張講義が9月から10月にかけて実績が多かったことから、平成30年度から効率的に実施できるよう、これまで6月から10月としていた実施期間を8月から10月に実施することとした。</p> <p>2-2 各学部の入学前教育(看護:推薦、社福:AO、総政:AO)を実施するとともに、11月に開催した教職員対象の高大連携・入試勉強会において、入学前教育について意見交換を行った。</p> <p>2-3 学部等における主な取組は次のとおりである。 【ソフトウェア情報学部】 京都すばる高等学校と連携事業を試行した。具体的には、3年生の課題研究の授業において継続的な研究指導を実施するとともに、情報セキュリティ教育に関して学部教員がアドバイスをを行った。 このほか、協定締結校である盛岡商業高等学校や酒田光陵高等学校の課題研究授業に在學生が参加し、研究指導を行った。</p>	<p>(表1つづき)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">宮古短期大学部</td> <td>入学定員</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>入学者数</td> <td>102</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>志願者数</td> <td>198</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td>志願倍率</td> <td>2.0</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>受験者数</td> <td>188</td> <td>229</td> </tr> <tr> <td>実質倍率</td> <td>1.3</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>143</td> <td>151</td> </tr> </table> <p>(人・倍) ※志願倍率=志願者数/入学定員 実質倍率=受験者数/合格者数</p> <p>○高大連携事業参加者満足度(表2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校教員対象見学会アンケート結果(今後の進路指導に生かせることがありましたか)</td> <td>99.3%</td> <td>98.4%</td> </tr> </tbody> </table>	宮古短期大学部	入学定員	100	100	入学者数	102	103	志願者数	198	239	志願倍率	2.0	2.4	受験者数	188	229	実質倍率	1.3	1.5	合格者数	143	151	区分	H28	H29	高校教員対象見学会アンケート結果(今後の進路指導に生かせることがありましたか)	99.3%	98.4%
宮古短期大学部	入学定員	100	100																														
	入学者数	102	103																														
	志願者数	198	239																														
	志願倍率	2.0	2.4																														
	受験者数	188	229																														
	実質倍率	1.3	1.5																														
合格者数	143	151																															
区分	H28	H29																															
高校教員対象見学会アンケート結果(今後の進路指導に生かせることがありましたか)	99.3%	98.4%																															

区分	評価			A A 評価項目	摘要															
	区分	法人	委員会 割合 %																	
				<p>【宮古短期大学部】 宮古商業高等学校との高大連携事業(総合的学習への講師派遣、情報系難関資格取得への指導)を検討するため、打合せを行った。 ⇒ <u>満足度の高い高大連携の取組の実施</u></p> <p>④ 学生への経済的支援、学生の課外活動及び主体的学習に対する支援の推進【No.14】(表3・4参照)</p> <p>1-1 平成29年度から予算枠を拡大するなど授業料免除制度の改正を行い、通常の授業料減免については全額免除とし、学生への支援を充実させた。これにより、前・後期延べ544人の免除を行った。大震災被災による減免については、被災等の状況に応じて支援することとし、全額免除56人、半額免除55人、1/4免除35人の前・後期延べ146人の免除を行った。 また、本学独自の奨学金である学業奨励金については、通常枠で22人、震災枠で1人を追加採用し、全体での貸与者は71人となった。</p> <p>1-2 平成29年12月に閣議決定された国の経済政策パッケージ(人づくり革命)における高等教育無償化について、本学として必要な対応の課題整理を行った。</p> <p>2-1 学生の課外活動等に対する支援について、サークルの新リーダー等を対象とした研修会(1回)及び会計事務研修会(3回)を開催し、後援会による経済的な支援の積極的活用かつ適正な運用を促すとともに、円滑なサークルの運営について指導した。</p> <p>2-2 平成29年度に顕著な成果や功績をあげた学生の活動21件に対し、学長奨励賞を授与した。</p> <p>2-3 学生の課外活動の状況について、大学のSNS(Facebook、Twitter)や広報誌による情報発信に加え、後援会だよりの紙面拡大や地域懇談会の場での報告により発信の強化に努めた。</p> <p>3 ラーニング・コモンズ機能の利用促進を図るため、次の取組を行った。 ・ 教員による選書(3回)、学生選書ツアー(1回)を実施したほか、図書担当者連絡調整会議を通じ、次期コアジャーナルの選定を各学部等と進めた。 ・ 学生によるライブラリー・アテンダントとのミーティング(10回)及びアンケート調査の実施により現状分析を行い、その結果を踏まえた学生目線の図書館活用法を記載したオリジナル葉を作成し、学生に配布した。 ・ 図書館機能を活用した学習支援企画として、授業との連携による情報検索講習(13回)やデータベースの利用方法等講習会(8回)、ラーニング・コモンズ設備を利用した「ランチ講座」(5回)、企画展示(4回)を実施し、延べ815人が参加した。 また、ソフトウェア情報学部の後期授業「プロジェクト演習」に「岩手県立大学の図書館資料の利用を促進する情報システムの提案」という研究テーマを提供することにより、学生の図書館機能の理解と有効活用を促した。</p> <p>4 ソフトウェア情報学部では、学部独自の学生データベースで管理する情報を整理するとともに、関係部局と協議し、情報の提供方法について取り決めた。この結果を踏まえ、学生データベースガイドを作成し、教員に周知した。 また、学生データベースの運用ガイドラインの第一案を作成し、試験的な運用を開始した。 ⇒ <u>学生への経済的支援の拡充、学生生活の高い充実度につながる学生支援の取組</u></p>	<p>○授業料免除枠(表3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>～H28</th> <th>H29～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運営費 交付金 措置</td> <td>授業料収入 予定額 ×7%</td> <td>授業料収入 予定額 ×11.5%</td> </tr> <tr> <td>授業料 免除 予算枠</td> <td>90百万円 程度/年</td> <td>141百万円 程度/年</td> </tr> </tbody> </table> <p>○卒業時における在学期間の学生生活充実度(表4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卒業年次生 アンケート</td> <td>95.1%</td> <td>96.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	～H28	H29～	運営費 交付金 措置	授業料収入 予定額 ×7%	授業料収入 予定額 ×11.5%	授業料 免除 予算枠	90百万円 程度/年	141百万円 程度/年	区分	H28	H29	卒業年次生 アンケート	95.1%	96.0%
区分	～H28	H29～																		
運営費 交付金 措置	授業料収入 予定額 ×7%	授業料収入 予定額 ×11.5%																		
授業料 免除 予算枠	90百万円 程度/年	141百万円 程度/年																		
区分	H28	H29																		
卒業年次生 アンケート	95.1%	96.0%																		

区分	評価			A A評価項目	摘要																																																																																																	
	区分	法人	委員会 割合 %																																																																																																			
				<p>⑤ 学生生活や健康管理に関する支援及び修学困難な学生に対する支援の充実【No.15】 (表5・6参照)</p> <p>1 新入生が学生生活に早期に適応することができるよう新たに「ランチアワー」を開催するなど、学生サポートサロンの更なる利用促進を図った結果、利用件数は2,624件に上り、平成28年度の1,415件と比較して1,209件の増加となった。 一方、悩みや障がい等を抱える学生以外のグループでの利用件数が増加していることから、サロンの利用ルールを見直し、口頭やポスター掲示により周知及び注意喚起を行った。</p> <p>2 障がいのある学生及び長期欠席や不適応傾向の学生への対応に関する全学的な共通理解を図ることを目的として、次の取組を行った。 ・平成29年2月に「障がい者支援研修会」を開催した。(参加者数 学生及び教職員計47人) ・平成29年11月に開催した第2回高等教育推進セミナーでは「修学に困難を抱えた学生への対応のポイント」をテーマに取り上げた。(参加者数 教職員81人)</p> <p>3 学生の修学状況の向上を目的として、各学部等と協議を重ね、全学統一的な制度として「修学状況に係る保証人通知要領」を策定し、後期から施行した。これにより、保証人が学生の状況を早期に把握し、修学への促しや必要な対応を行うことが可能になり、大学から連絡が取れない状況等にある学生への対応強化を図った。(学部・短期大学部計18人に対し通知を実施)</p> <p>⇒ 「学生サポートサロン」の利用拡大、保証人通知制度の創設</p> <p>⑥ 学生の県内就職の促進【No.17】 (表7・8・9・10参照)</p> <p>1 学生の県内企業への理解を促進するため、県中小企業団体中央会や県内自治体等との連携の下、企業見学会など様々な取組を行った結果、参加学生数は平成28年度870人のところ、平成29年度は1,113人と243人増加した。なお、全学及び各学部等の主な取組は次のとおりである。 【全学共通】 ・学内で全学合同企業等説明会を実施した。参加企業等151事業所中91事業所が県内事業所。(参加学生数 延べ1,086人) ・新たにCOC+事業による「ふるさと発見!大交流会 in Iwate」を開催した。県内の企業、民間団体、自治体及び高等教育機関等173団体と県内学生905人(うち本学学生417人)が参加した。 ・COC+事業による県内事業所訪問バスツアーを実施した。(参加学生数39人) ・学内で中小企業団体中央会との共催による全学対象の業界研究セミナーを実施した。(県内参加企業10社、参加学生数60人) 【看護学部】 初の試みとして「保護者のための就職セミナー」及び「助産学科履修学生対象キャリアセミナー」を実施した。(保護者セミナー 参加者数54人、学生対象キャリアセミナー 参加学生数約200人) 【社会福祉学部】 福祉に特化した学部独自の就職セミナーを3回実施した。(参加学生数 延べ111人) 【ソフトウェア情報学部】 いわて情報産業サービス協会との共催による県内企業の合同企業説明会「いわて情報産業就職フォーラム」を実施した。(参加学生数53人)</p>	<p>○学生サポートサロン利用状況(表5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談</td> <td>348件</td> <td>357件</td> </tr> <tr> <td>休憩</td> <td>578人</td> <td>925人</td> </tr> <tr> <td>自習</td> <td>467件</td> <td>1,319件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>22件</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>計(延べ)</td> <td>1,415件</td> <td>2,624件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○学生等に対する特別支援業務(表6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数(延べ)</td> <td>360件</td> <td>437件</td> </tr> <tr> <td>支援対象者</td> <td>16人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>支援件数(相談対応除く)</td> <td>92件</td> <td>92件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○就職の状況(表7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">県立 大学 四 学部</td> <td>県内就職者数</td> <td>181</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>43.5</td> <td>46.4</td> </tr> <tr> <td>県外就職者数</td> <td>235</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>56.5</td> <td>53.6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計(就職者数)</td> <td>416</td> <td>418</td> </tr> <tr> <td colspan="2">割合</td> <td>96.5</td> <td>97.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">盛岡 短期 大学部</td> <td>県内就職者数</td> <td>41</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>62.1</td> <td>68.6</td> </tr> <tr> <td>県外就職者数</td> <td>25</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>37.9</td> <td>31.1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計(就職者数)</td> <td>66</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td colspan="2">割合</td> <td>90.4</td> <td>89.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">宮古 短期 大学部</td> <td>県内就職者数</td> <td>47</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>66.2</td> <td>68.6</td> </tr> <tr> <td>県外就職者数</td> <td>24</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>33.8</td> <td>31.4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計(就職者数)</td> <td>71</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td colspan="2">割合</td> <td>97.3</td> <td>95.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H30.3.31時点、人・%)</p>	区分	H28	H29	相談	348件	357件	休憩	578人	925人	自習	467件	1,319件	その他	22件	23件	計(延べ)	1,415件	2,624件	区分	H28	H29	相談件数(延べ)	360件	437件	支援対象者	16人	9人	支援件数(相談対応除く)	92件	92件	区分		H28	H29	県立 大学 四 学部	県内就職者数	181	194	割合	43.5	46.4	県外就職者数	235	224	割合	56.5	53.6	計(就職者数)		416	418	割合		96.5	97.2	盛岡 短期 大学部	県内就職者数	41	42	割合	62.1	68.6	県外就職者数	25	19	割合	37.9	31.1	計(就職者数)		66	61	割合		90.4	89.7	宮古 短期 大学部	県内就職者数	47	48	割合	66.2	68.6	県外就職者数	24	22	割合	33.8	31.4	計(就職者数)		71	70	割合		97.3	95.9
区分	H28	H29																																																																																																				
相談	348件	357件																																																																																																				
休憩	578人	925人																																																																																																				
自習	467件	1,319件																																																																																																				
その他	22件	23件																																																																																																				
計(延べ)	1,415件	2,624件																																																																																																				
区分	H28	H29																																																																																																				
相談件数(延べ)	360件	437件																																																																																																				
支援対象者	16人	9人																																																																																																				
支援件数(相談対応除く)	92件	92件																																																																																																				
区分		H28	H29																																																																																																			
県立 大学 四 学部	県内就職者数	181	194																																																																																																			
	割合	43.5	46.4																																																																																																			
	県外就職者数	235	224																																																																																																			
	割合	56.5	53.6																																																																																																			
計(就職者数)		416	418																																																																																																			
割合		96.5	97.2																																																																																																			
盛岡 短期 大学部	県内就職者数	41	42																																																																																																			
	割合	62.1	68.6																																																																																																			
	県外就職者数	25	19																																																																																																			
	割合	37.9	31.1																																																																																																			
計(就職者数)		66	61																																																																																																			
割合		90.4	89.7																																																																																																			
宮古 短期 大学部	県内就職者数	47	48																																																																																																			
	割合	66.2	68.6																																																																																																			
	県外就職者数	24	22																																																																																																			
	割合	33.8	31.4																																																																																																			
計(就職者数)		71	70																																																																																																			
割合		97.3	95.9																																																																																																			

区分	評価			A A 評価項目	摘要																														
	区分	法人	委員会 割合 %																																
				<p>【総合政策学部】 岩手県との共催による「合同企業視察バスツアー（学生 10 人参加）」及び北上市役所との共催による「合同企業視察バスツアー（学生 19 人参加）」を実施した。</p> <p>【盛岡短期大学部】 キャリアデザインの授業の中で「インターンシップ体験報告会」、「インターンシップ情報共有会」及び「中小企業との座談会」を実施した。</p> <p>【宮古短期大学部】 教職員が県内企業を中心に 35 社の企業訪問を実施し、訪問結果を学生に情報提供した。 2 学生に対するインターンシップ説明会を 9 回開催した。その結果、夏季・春季を合わせたインターンシップ参加者数は、平成 28 年度 352 人に対し、平成 29 年度は 336 人と微減となった。一方、県内企業・自治体を対象としたインターンシッププログラム構築に関するセミナーを 10 回開催し、地域志向型インターンシッププログラムが平成 28 年度より 6 件増となった。 また、NPO 法人が企画・運営する中長期実践型（復興支援型）のインターンシップに関する学内説明会を 2 回開催した。（2 事業所、2 人が参加） ⇒ <u>県内定着を図る取組の充実、県内就職者数の増加</u></p> <p>⑦ 研究者データベースの充実及び活用促進、研究成果の積極的発信【No.19】（表 11 参照） 全学研究支援費の支援要件として、研究者情報システムの研究業績の更新を義務付けるなど、教員に更新を促す取組を行い、124 人の教員がシステムを更新の上、研究費に応募するに至った。 また、本学研究者情報システムの情報を researchmap と連携させ、外部研究者への発信を強化（連携実績 125 件）するとともに、次のような多様な方法で研究成果を発信した。 ・ 平成 28 年度までに完了した研究成果の機関リポジトリへの登録・公開 （学部等研究費 13 件、i-MOS 研究課題 62 件、地政研研究課題 189 件） ・ 大学ホームページでの研究シーズ集の掲載 （学部等研究費 58 件、i-MOS 研究課題 9 件、地政研研究課題 42 件） ・ 研究代表者の教育研究者総覧へのリンク付け ・ 県内外で開催された展示会（14 件）に出展し、延べ 42 テーマの研究シーズを発表 ・ 各学部等で紀要を発行 ・ 学会参加、発表旅費や論文投稿料等を支援し、国内外で研究成果を発表 （学会発表旅費支援 131 件 [国外 34 件・国内 97 件]、学会参加旅費支援 151 件 [国内]、論文投稿料支援 6 件） ・ 教員単独による展示会出展に要する出展料の支援（1 件） ⇒ <u>研究者データベースの充実に向けた制度の見直し、機関リポジトリへの論文登録数の増加</u></p>	<p>○公務員就職者数（表 8）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公務員就職者</td> <td>72</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>うち 県内就職者</td> <td>49</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">（H30.3.31 時点、人）</p> <p>○キャリアガイダンス参加者数（表 9）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>2,186 人</td> <td>2,223 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○インターンシップ参加者数（表 10）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>352 人</td> <td>336 人</td> </tr> <tr> <td>事業所</td> <td>189 事業所</td> <td>224 事業所</td> </tr> </tbody> </table> <p>○機関リポジトリへの論文登録数 （表 11）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>論文登録数</td> <td>238 件</td> <td>301 件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H28	H29	公務員就職者	72	75	うち 県内就職者	49	56	区分	H28	H29	参加者数	2,186 人	2,223 人	区分	H28	H29	参加者数	352 人	336 人	事業所	189 事業所	224 事業所	区分	H28	H29	論文登録数	238 件	301 件
区分	H28	H29																																	
公務員就職者	72	75																																	
うち 県内就職者	49	56																																	
区分	H28	H29																																	
参加者数	2,186 人	2,223 人																																	
区分	H28	H29																																	
参加者数	352 人	336 人																																	
事業所	189 事業所	224 事業所																																	
区分	H28	H29																																	
論文登録数	238 件	301 件																																	

区分	評価				A A評価項目	摘要																																							
	区分	法人	委員会	委員会評価割合 (%)																																									
					<p>⑧ 県民の参加を得られるような公開講座、専門職業教育等の充実【No.23】 (表 12 参照)</p> <p>1-1 看護学部では、看護技術に関する支援事業として、看護職者等を対象としたコミュニケーション・スキルアップ研修会(7~11月 4回 参加者数99人)、看護技術に関する研修会(9~12月 4回 参加者数96人)、看護実践研究センター事業として、看護職者等を対象とした糖尿病看護スキルアップ研修(2月17日 参加者数16人)、岩手訪問看護師研修会(8月5日 参加者数27人)を開催した。</p> <p>1-2 盛岡短期大学部では、栄養士を対象とした「社会人リカレント教育講座(管理栄養士国家試験受験準備講座)」を開催した。(9~12月 8回 受講者数40人)</p> <p>2-1 生涯学習講座として、退職教員の知識と経験を有効活用し、岩手日報社と連携した『脳活音読』一日体験講座(4月14日 受講者数51人)、地区講座として、自治体等と連携し、滝沢市睦大学連携講座(9月4日 受講者数35人)、北上市多文化共生講演会(12月2日 受講者数25人)、洋野町ひろの町民大学連携講座(2月17日 受講者数45人)を開催した。</p> <p>また、「ここからはじまる、いわての未来」をテーマに滝沢キャンパス講座を3日間で7講座(7月22日、7月29日、8月5日 受講者数249人)開催した。受講者数は、平成28年度228人、平成29年度は249人と微増であったが、オープンキャンパスを活用したチラシ配布など広報活動を強化したことにより、高校生の受講者数が平成28年度は53人のところ、平成29年度は84人と増加した。</p> <p>2-2 このほか、社会福祉学部主催の学術講演会(10月21日 参加者数147人)、公開講演会(1月28日 参加者数211人)、総合政策学部主催の産業講演会(7月27日 参加者数60人、12月25日 参加者数60人)などを開催した。</p> <p>3-1 ソフトウェア情報学部では、県民向けICT講座として、アイーナ情報システム塾(20回 受講者数約400人)、いわて善隣プロジェクト(12回 受講者数約180人)を開催した。また、プログラミングを学ぶ体験学習として、小学生対象の「おでんせ!サイエンスキッズ」(5講座 計9回 受講者数92人)、滝沢市立第二中学校科学技術部員を対象にしたRubyプログラミング教室(7月27日~29日 受講者数13人)を開催した。</p> <p>3-2 宮古短期大学部では、宮古市教育委員会との共催による「みやこロボットプログラミング教室」を開催した。(7月30日 受講者数18人)</p> <p>⇒ <u>公開講座等の受講者数の増加</u></p>	<p>○公開講座の状況(表12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">滝沢キャンパス</td> <td>開催回数</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>受講総数</td> <td>610</td> <td>775</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地区講座</td> <td>開催回数</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>受講総数</td> <td>74</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アイーナキャンパス</td> <td>開催回数</td> <td>34</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>受講総数</td> <td>1,325</td> <td>1,494</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">学部主催</td> <td>開催回数</td> <td>37</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>受講総数</td> <td>1,106</td> <td>1,472</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>開催回数</td> <td>79</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>受講総数</td> <td>3,206</td> <td>3,897</td> </tr> </tbody> </table> <p>(回・人)</p>	区分		H28	H29	滝沢キャンパス	開催回数	5	7	受講総数	610	775	地区講座	開催回数	2	4	受講総数	74	156	アイーナキャンパス	開催回数	34	37	受講総数	1,325	1,494	学部主催	開催回数	37	44	受講総数	1,106	1,472	計	開催回数	79	92	受講総数	3,206	3,897
区分		H28	H29																																										
滝沢キャンパス	開催回数	5	7																																										
	受講総数	610	775																																										
地区講座	開催回数	2	4																																										
	受講総数	74	156																																										
アイーナキャンパス	開催回数	34	37																																										
	受講総数	1,325	1,494																																										
学部主催	開催回数	37	44																																										
	受講総数	1,106	1,472																																										
計	開催回数	79	92																																										
	受講総数	3,206	3,897																																										
<p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置</p> <p>「おおむね計画どおり進んでいる」と判断される</p> <p>※AA~B 評価割合 100.0%</p>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>AA</td> <td></td> <td>1</td> <td>12.5</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>12.5</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	AA		1	12.5	A	7	6	75.0	B	1	1	12.5	C	0	0	0.0	D	0	0	0.0	計	8	8	100.0	<p>① 男女共同参画及び教職員が働きやすい環境の整備の推進【No.36】</p> <p>1 本学の男女共同参画に関する取組を積極的に推進するため、「岩手県立大学・男女共同参画推進のための学長宣言」を策定し、4月3日、教職員に向けて宣言を行った。</p> <p>2 学内イベント時の臨時託児の実施(利用児童数55人)に加え、就業支援の一環として、教職員が土日、祝日に出張その他の業務に従事する必要がある場合に自宅にシッターを派遣する「休日託児サービス」を試行的に実施(利用児童数4人)した。</p> <p>また、病時病後児保育に関する子育て期にある職員への情報提供の手法について継続して検討することとしたほか、就業支援の事業への教職員の理解を深めるため、ニュースレターを年5回発行し、託児サービス等の事業周知や実施報告など情報提供に努めた。</p> <p>3 教職員自身が男女共同参画の理念を理解し、意識を高めるための「男女共同参画研修会」(10月17日 参加者数34人)を開催したほか、働きながら子育てをしている教職員や学生が仕事と育児の両立について話し合う座談会(11月9日 参加人数43人)や、子育て支援及び子育てしやすい職場環境の意識の醸成を図ることを目的に教職員の子供を対象とした「夏休み子ども職場見学」(8月8日 参加者数14人)を実施した。</p> <p>⇒ <u>学長の強いリーダーシップによる男女共同参画の取組の推進、働きやすい環境整備に向けた新たな取組の実施</u></p>																			
AA		1	12.5																																										
A	7	6	75.0																																										
B	1	1	12.5																																										
C	0	0	0.0																																										
D	0	0	0.0																																										
計	8	8	100.0																																										

区分	評価				A A 評価項目	摘要
	区分	法人	委員会	委員会評価の割合 (%)		
Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 「おおむね計画どおり進んでいる」と判断される ※AA～B 評価割合 100.0%	AA	0	0	0.0		
	A	1	1	50.0		
	B	1	1	50.0		
	C	0	0	0.0		
	D	0	0	0.0		
	計	2	2	100.0		
Ⅳ 自己点検・評価・改善及び情報の提供に関する目標を達成するための措置 「計画どおり進んでいる」と判断される ※AA～B 評価割合 100.0%	AA	0	0	0.0		
	A	2	2	100.0		
	B	0	0	0.0		
	C	0	0	0.0		
	D	0	0	0.0		
	計	2	2	100.0		
Ⅴ その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置 おおむね「計画どおり進んでいる」と判断される ※AA～B 評価割合 100.0%	AA	0	0	0.0		
	A	3	3	75.0		
	B	1	1	25.0		
	C	0	0	0.0		
	D	0	0	0.0		
	計	4	4	100.0		
合 計	AA	9	9	20.0		
	A	33	24	53.3		
	B	12	12	26.7		
	C	0	0	0.0		
	D	0	0	0.0		
	計	45	45	100.0		